

1/12

二十歳の門出を祝う成人式 新成人351人が出席

「成人の日」の1月12日、市総合福祉センターで「平成21年小松島市成人式」が開かれ、明日へ向かって希望に満ち溢れる新成人の門出を祝いました。

小松島市で今年、成人を迎えられたのは509名（男性276名、女性233名）。そのうち、351名（男性183名、女性168名）が式典に出席。

式典開始前の会場では、久しぶりに再会した友人と会話したり、晴れ姿を写真におさめたりといった光景がいたるところで見受けられました。



新成人を代表して成人証書を受け取る井上初音さん



新成人を代表して謝辞を述べる天真寛文さん

式典では、新成人代表の井上初音さん（立江町）に成人証書が手渡された後、稲田市長が「皆さん方には夢と希望と力があります。世間は、大変厳しい状況下ではありますが、皆さん方の一人ひとりの力強さ、希望に向かっての前進で世の中が開けてくると思います。皆さん方の働きによって、新しい日本を築いていただきたいと思います。繰り返しになりますが、皆さん方には夢があります。希望があります。やればできます。将来の日本を背負う人間として、すばらしい時期を重ね、自分自身

1/16

災害時の通信網確保のため 非常通信訓練を実施

阪神淡路大震災のような大規模災害の発生時に、迅速な情報伝達と通信網の確保を図ることを目的に1月16日、アマチュア無線協会小松島支部（森本孝会長）と小松島市などが合同で非常通信訓練を行いました。

この訓練には、消防署員や、消防団員、アマチュア無線協会の会員ら約40人が参加。

同日正午に地震が発生、一般回線電話や携帯電話などによる通信が不能になったとの想定で、

の思いを叶えてください」と激励されました。

この後、佐野市議会議長、長池県議会議員の祝辞に続いて、天真寛文さん（小松島町）が「今日の日の感激を胸に、成人として恥じない言動に努め、小松島市の発展を願って一市民として頑張っていく覚悟でございます」と謝辞を述べられました。

最後に、成人式の恒例記念行事「新成人の主張」が行われ、角出麻美さん（和田島町）と湯浅美紀さん（田野町）が抱負を述べられました。

に対応できるかどうかを確認しました。



アマチュア無線協会の会員から寄せられる災害情報をもとに被災状況の把握、分析を行う消防署員と消防団員ら

1/27

いつまでもお元気で 内藤マサエさん満百歳を祝う



元気に満百歳の誕生日を迎えられた内藤マサエさん

田野町の内藤マサエさんが1月27日、満百歳の誕生日を迎えられ、内藤さんの自宅を黒田政策監や県職員らが訪問。祝い状や記念品を贈り長寿を祝いました。内藤さんは明治42年生まれ。年齢のため耳が少し遠いものの、ほとんど風邪もひいたことがないとのこと。普段は、最新型の全自動洗濯機を使用して自分の衣服を洗濯したり、携帯電話で県外のお子さんに連絡をされているそうで、とても百歳とは思えないほどお元気でした。